

○事業所名	放課後等デイサービスすまいるのーと			
○保護者評価実施期間	令和8年5月27日		～	令和8年6月17日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34	(回答者数)	25
○従業者評価実施期間	令和8年5月11日		～	令和8年6月3日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年6月27日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	小集団を中心とした個性の高い支援体制 利用児童一人ひとりの特性に応じた支援が可能な体制となっており、保護者からも一定の評価を得ている。 日々の関わりの中で細やかな観察と支援の調整を行っている点が強みである。	・小集団（2～6名程度）での支援運営 ・日々の記録や職員間共有による支援の微調整 ・個別支援計画に基づく対応の徹底	・支援内容の見える化（記録・共有の仕組み強化） ・職員間での支援方針の統一 ・発達段階別のプログラム体系化
2	プログラミングを中心とした特色ある療育内容 他事業所との差別化要素として、プログラミング活動を中心とした支援を提供しており、児童の興味関心を引き出す取組となっている。	・プログラミングを軸にした活動構成 ・楽しさを重視した療育設計 ・成功体験を積ませる支援	・難易度別カリキュラムの整備 ・他活動（運動・社会性）のバランス強化 ・成果の可視化（保護者共有）
3	保護者との情報共有体制（LINE・連絡帳） 日々の様子を保護者に伝える仕組みが整っており、安心感の醸成につながっている。	【工夫・取組】 ・LINEによる写真・活動報告 ・連絡帳での個別フィードバック ・送迎時の口頭共有	【今後の充実】 ・定期面談の強化 ・フィードバック内容の質向上 ・支援方針の共有機会の増加

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動内容のバリエーションと体系化の不足 現状でも多様な活動は実施しているが、体系的なカリキュラムとして整理されていない部分がある。	・職員個々の裁量に依存している ・プログラム設計の標準化が未整備	・年間・月間プログラムの作成 ・活動内容のマニュアル化 ・支援内容の標準化と共有
2	関係機関（学校等）との連携の深さ 必要に応じた連携は行っているが、定期的・体系的な連携には至っていない。	・連携のルール・頻度が明確でない ・日常業務優先で後回しになりがち	・定期的な情報共有の仕組み化 ・連携記録の整備 ・担当者の明確化
3	業務改善（PDCA）の形式化・見える化 日々の振り返りは行っているが、記録を見返して、次につなげる仕組みが弱い。	・書式・フォーマットが未整備 ・業務の忙しさによる後回し	・簡易な振り返りシートの導入 ・月次ミーティングでの共有 ・改善内容の記録・蓄積

事業所名	放課後等デイサービスまいるのーと
------	------------------

公表日 令和8年6月30日

利用児童数 34 回収数 25

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13	0	7	5		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	19	0	0	6	送迎が従事者2名でとの説明を受けたが、時間や人数により1名の時があるのが気になる。 最近発達遅延者に対しての性暴力などがニュースなどでも頻繁に起きているので、利用者として《うちは大丈夫》と思いたいが安心していいのか不安になる。	基本的に送り迎えは2名体制ですが、特別な時間での送迎や特に忙しい時間帯は1名で行わざるを得ない場合がございます。 ご不安が多い場合は、職員へご相談いただければ、いきいきの迎え時間をずらす。送り時間をずらす。などなるべく対応させていただきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14	1	5	5		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	20	0	1	4		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	20	1	3	1	高学年向けと聞いていたが、小さい子が多く、利用しづらい部分も出て来ているが、年齢的にしょうがないのかなと思っています。	4月より、新1年生が増えたため、そのように感じておられるのだと思います。 利用しづらい部分について改善していきたいので、ご意見をいただけると幸いです。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	20	0	3	2		
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	24	0	0	1		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	22	0	2	1		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	22	1	2	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	16	0	4	5		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4	6	3	12		
保 護 者 へ	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	25	0	0	0		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	24	0	0	1		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3	10	2	10		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	21	0	4	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13	3	5	4	保護者の悩みをよく聞いてくださりありがたいですが、定期的に打ち合わせがあれば嬉しいなと思います	支援計画以外でも、必要な場合には個別で会議を依頼しております。利用者様からも遠慮なく申し付けください
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	19	1	2	3		

の 説 明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	8	2	11		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16	0	5	4		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	22	0	1	2		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	22	0	1	2		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	22	0	1	2		
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12	1	1	11		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7	1	1	16		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15	0	2	8		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	16	1	1	7		
満 足 度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	23	0	0	2		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	24	0	1	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	22	0	2	1		

事業所名	放課後等デイサービスすまいるのーと
------	-------------------

公表日

令和8年6月30日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	3	人数が多い際は少し狭く感じるが外に出たり、遊びの内容で対応している。 目的ごとに机、いすを配置し、プログラミングや宿題の時に動線を分ける工夫をしている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7			利用する子どもや送迎の関係等で配置が少なく感じることはあるが基本的には適切だと思う。 常勤（正規職員）があと1人入ると、全体が回りがよくなり、さらに良くなると感じる。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		利用者それぞれがどこで何をすることが理解できている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7			相談室内の整頓は必要だと感じる。 水周りの掃除、整理整頓を限られた人がやっている
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		必要に応じて隔離した空間を自由に使用できる。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7		改善が遅い時もあるが、職員同士、意識できるように声掛けなどを行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		毎日振り返りの機会や意見を言う場があり日々業務改善につなげられている。 従業員の立場からの意見にも耳を傾けてくださる。	面談の機会を定期的に設ける。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	6	第三者による外部評価はまだないと考えます。 あまり明確ではない	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		動画研修をする機会をできるときは毎朝設けている。	現時点では実際に研修に向ける時間が少なくなってきたと感じます。 個人の研修ですが、児発官の実践研修をお願いいたします。 資質向上に素直に話しを聞いてみようという姿勢が薄いと感ずる。
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7			お出かけや行事以外の日々の生活は子どもや職員次第で支援計画を基には考えられていない日もある。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		みんなで案を出している。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		毎日活動内容を話し合っている。 どのような活動ができるか、考えたり検討したりする機会がある。	マンネリ化している活動もあるので、日々意見出しをしていきたい。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		毎朝朝礼にてその日の活動内容や職員配置等を話し合い、支援できるようにしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		必ずではないが、おおむねできている。 毎日終礼にて当日の様子を振り返り、終礼シートに記載している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		支援の仕方や内容等は日々職員全員で検証し、常に良い支援ができるように改善している。	日々の支援が個別の支援計画に沿っているか再度、検証が必要。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7			自己決定の場面を増やせるように日々支援していきたい。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7			参画はしているが、会議の内容を周知し切れていない部分もあるので、周知する。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	3	利用者全員とは言えないが、以前に利用されていた事業所等と利用前に連絡し、情報共有を行っている。	情報共有された内容の周知徹底が必要。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		7	障害福祉サービス事業所に移行対象の利用者がまだ居ない。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	5		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	1	他の児発・放デイ等とのイベント企画を行っている。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	2		参画はしているが、会議の内容を周知し切れていない部分もあるので、周知する。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		気になったことはその日の送迎時や電話、LINE等で情報共有をしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	2		ご家族等に対してペアレントトレーニングの機会を設けるようにする。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	4		父母会の開催を検討したい。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7		1か月に1回通信を発行し、SNSやブログも定期的に更新して子どもたちの日々の活動の様子を発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		ダブルチェック等の体制を取っている	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	2		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	1	持参してきたものには対応している	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	2	アレルギーの有無は確認している。 アレルギーについてはしっかり対応している	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7			ケーススタディ研修を行っていきたい。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7			